

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年7月10日
【四半期会計期間】	第61期第2四半期（自平成26年3月1日至平成26年5月31日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 杉本 篤哉
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第2四半期連結 累計期間	第61期 第2四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成24年 12月1日 至平成25年 5月31日	自平成25年 12月1日 至平成26年 5月31日	自平成24年 12月1日 至平成25年 11月30日
売上高(千円)	9,237,658	9,683,957	19,109,049
経常利益(千円)	372,903	228,733	569,129
四半期(当期)純利益(千円)	191,148	118,190	289,914
四半期包括利益又は包括利益(千円)	588,358	61,173	800,517
純資産額(千円)	5,208,041	5,356,925	5,397,362
総資産額(千円)	16,677,118	20,265,477	19,034,325
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	33.48	20.70	50.78
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	31.2	26.4	28.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	540,322	10,822	1,484,888
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	487,441	1,232,719	1,236,468
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	753,773	1,048,701	315,530
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	790,017	1,433,303	1,461,032

回次	第60期 第2四半期連結 会計期間	第61期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 5月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	4.43	8.41

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

（ロボットシステム事業）

第1四半期連結会計期間より、ASKA USA CORPORATIONは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や金融政策を背景に円安が進み、株価が上昇する等の緩やかな回復の動きが見られたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動、また、為替変動、海外景気の下振れ懸念等不透明感が残るなかで推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高96億8,395万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は1億9,542万円（前年同四半期比25.2%増）、経常利益は2億2,873万円（前年同四半期比38.7%減）、四半期純利益は1億1,819万円（前年同四半期比38.2%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

消費増税前の駆け込み需要により生産量が増加したものの、その後の反動もあり、当事業の売上高は61億798万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開した結果、当事業の売上高は11億3,699万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けの自動化システム及び大口の制御システムが好調に推移したこと、及び第1四半期連結会計期間より北米子会社ASKA USA CORPORATIONを連結範囲に含めた結果、当事業の売上高は19億1,404万円（前年同四半期比29.4%増）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

各種イベントを企画し集客強化を図った結果、当事業の売上高は3億6,067万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

〔人材教育事業〕

新規得意先に対する受注活動を積極的に展開した結果、当事業の売上高は1億6,425万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ2,772万円減少し、14億3,330万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1,082万円（前年同四半期は5億4,032万円の獲得）となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12億3,271万円（前年同四半期は4億8,744万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、10億4,870万円（前年同四半期は7億5,377万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は2,530万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年7月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年3月1日～ 平成26年5月31日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(6) 【大株主の状況】

平成26年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)片山	名古屋市中区丸の内3 - 5 - 35	1,049	18.36
片山 敬勝	名古屋市天白区	613	10.73
ニチアス(株)	東京都中央区八丁堀1 - 6 - 1	598	10.47
アスカ取引先持株会	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11	553	9.67
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1 - 1 - 2	281	4.92
アスカ社員持株会	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11	220	3.85
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	東京都千代田区大手町1 - 5 - 5 (東京都中央区晴海1 - 8 - 12)	170	2.97
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1	150	2.62
(株)愛知銀行	名古屋市中区栄3 - 14 - 12	144	2.51
(株)三重銀行	三重県四日市市西新地7 - 8	114	1.99
(株)商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2 - 10 - 17	114	1.99
計	-	4,008	70.13

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,708,900	57,039	-
単元未満株式	普通株式 820	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,039	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ㈱	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,700	-	5,700	0.10
計	-	5,700	-	5,700	0.10

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,461,032	1,433,303
受取手形及び売掛金	3,600,149	3,651,918
商品及び製品	114,446	111,687
仕掛品	781,532	971,537
原材料及び貯蔵品	273,350	284,276
その他	699,332	745,597
流動資産合計	6,929,843	7,198,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,947,920	3,246,909
機械装置及び運搬具(純額)	1,148,656	1,112,375
土地	4,443,149	4,766,458
その他(純額)	1,097,936	1,805,482
有形固定資産合計	9,637,662	10,931,226
無形固定資産	14,571	15,394
投資その他の資産		
投資有価証券	1,685,446	1,336,752
その他	766,801	783,783
投資その他の資産合計	2,452,247	2,120,536
固定資産合計	12,104,481	13,067,156
資産合計	19,034,325	20,265,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,476,775	1,984,831
短期借入金	1,180,000	3,380,000
1年内返済予定の長期借入金	2,127,828	2,018,630
未払金	2,159,455	2,022,530
未払法人税等	196,282	124,705
賞与引当金	15,634	19,892
その他	571,950	1,005,627
流動負債合計	8,727,927	10,556,218
固定負債		
長期借入金	3,908,296	3,345,285
退職給付引当金	618,814	617,100
役員退職慰労引当金	266,290	276,540
その他	115,634	113,407
固定負債合計	4,909,036	4,352,333
負債合計	13,636,963	14,908,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,942,648	2,957,950
自己株式	3,505	3,537
株主資本合計	4,744,541	4,759,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581,979	537,403
為替換算調整勘定	65,542	53,458
その他の包括利益累計額合計	647,522	590,862
少数株主持分	5,298	6,252
純資産合計	5,397,362	5,356,925
負債純資産合計	19,034,325	20,265,477

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	9,237,658	9,683,957
売上原価	8,419,674	8,798,103
売上総利益	817,983	885,853
販売費及び一般管理費	661,887	690,430
営業利益	156,096	195,423
営業外収益		
受取利息	7,879	844
受取配当金	9,954	11,678
為替差益	135,730	-
受取地代家賃	18,637	24,174
その他	73,957	36,949
営業外収益合計	246,159	73,646
営業外費用		
支払利息	25,941	25,725
為替差損	-	9,447
その他	3,410	5,163
営業外費用合計	29,351	40,336
経常利益	372,903	228,733
特別利益		
投資有価証券売却益	-	21,709
特別利益合計	-	21,709
特別損失		
減損損失	62,040	-
特別損失合計	62,040	-
税金等調整前四半期純利益	310,863	250,443
法人税、住民税及び事業税	125,779	135,322
法人税等調整額	6,020	2,893
法人税等合計	119,759	132,428
少数株主損益調整前四半期純利益	191,104	118,014
少数株主損失()	43	175
四半期純利益	191,148	118,190

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191,104	118,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298,399	44,576
為替換算調整勘定	98,854	12,264
その他の包括利益合計	397,254	56,841
四半期包括利益	588,358	61,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587,611	61,354
少数株主に係る四半期包括利益	747	181

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	310,863	250,443
減価償却費	397,015	392,297
減損損失	62,040	-
のれん償却額	-	1,310
賞与引当金の増減額(は減少)	3,962	1,243
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,250	10,250
退職給付引当金の増減額(は減少)	38,713	1,714
デリバティブ評価損益(は益)	16,581	-
受取利息及び受取配当金	17,834	12,523
支払利息	25,941	25,725
固定資産除売却損益(は益)	1,593	1,109
投資有価証券売却損益(は益)	-	21,709
売上債権の増減額(は増加)	151,446	30,915
たな卸資産の増減額(は増加)	405,761	152,069
仕入債務の増減額(は減少)	269,680	506,403
未払金の増減額(は減少)	377,515	173,778
未払消費税等の増減額(は減少)	6,565	31,823
その他	117,855	330,368
小計	601,556	207,289
利息及び配当金の受取額	18,052	12,714
利息の支払額	25,348	26,133
法人税等の支払額	57,672	206,147
法人税等の還付額	3,735	1,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	540,322	10,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	780,595	1,234,258
有形固定資産の売却による収入	221	-
無形固定資産の取得による支出	1,738	-
投資有価証券の取得による支出	-	31,510
投資有価証券の売却による収入	88,000	31,309
貸付けによる支出	2,982	5,278
貸付金の回収による収入	214,300	5,292
その他の支出	4,646	-
その他の収入	-	1,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	487,441	1,232,719

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,550,000	2,200,000
長期借入れによる収入	1,900,000	50,000
長期借入金の返済による支出	1,046,815	1,160,327
リース債務の返済による支出	-	975
自己株式の取得による支出	-	32
配当金の支払額	56,958	39,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	753,773	1,048,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	98,940	6,853
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	601,952	187,986
現金及び現金同等物の期首残高	1,391,970	1,461,032
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）	-	160,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	790,017	1,433,303

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、ASKA USA CORPORATIONは、重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
荷造運搬費	213,541千円	221,996千円
賞与引当金繰入額	2,504	2,379
退職給付費用	5,870	7,295
役員退職慰労引当金繰入額	10,250	10,250

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
現金及び預金勘定	790,017千円	1,433,303千円
現金及び現金同等物	790,017	1,433,303

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	57,096	10	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 取締役会	普通株式	22,838	4	平成25年5月31日	平成25年8月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月26日 定時株主総会	普通株式	39,967	7	平成25年11月30日	平成26年2月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 取締役会	普通株式	17,128	3	平成26年5月31日	平成26年8月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	6,159,020	1,104,825	1,478,749	344,619	150,443	9,237,658	-	9,237,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	899	5,828	18,120	375	1,773	26,996	26,996	-
計	6,159,920	1,110,653	1,496,869	344,994	152,216	9,264,655	26,996	9,237,658
セグメント利益	2,634	9,586	65,476	30,132	41,187	149,016	7,080	156,096

(注)1.セグメント利益の調整額7,080千円は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	6,107,981	1,136,996	1,914,048	360,672	164,258	9,683,957	-	9,683,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	635	96,043	48,721	375	4,163	149,939	149,939	-
計	6,108,616	1,233,039	1,962,769	361,047	168,422	9,833,896	149,939	9,683,957
セグメント利益又は損失 ()	51,474	61,602	32,897	4,885	47,254	188,343	7,080	195,423

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額7,080千円は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	33円48銭	20円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	191,148	118,190
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	191,148	118,190
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,684	5,709,672

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年6月26日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....17,128千円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成26年8月8日

(注) 平成26年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 7月 9日

アスカ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の平成25年12月1日から平成26年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。